

進路調査アンケート集計結果

2019年9月30日（月）

大阪経済法科大学 キャリアセンター

・調査の概要

- ①実施時期：2019年9月17日（火）～9月29日（日）
- ②対象：大阪経済法科大学 2016年度～2018年度 学部卒業生 1615名
- ③回答・回収状況 67件 （回収率：約4.1%）
- ④調査項目・・・現在の就職状況
在学時に身につけた能力について など

・アンケート回答結果

【I】基本事項についての質問

【1】卒業した学部・学科・コース

学部学科	人数	割合
経済学部経営学科	14	20.9%
経済学部経済学科	12	17.9%
法学部法律学科	41	61.2%
総計	67	100.0%

- 回答者の20.9%が「経済学部経営学科」、17.9%が「経済学部経済学科」、61.2%が「法学部法律学科」の卒業生となっている。

【2】卒業年度

卒業年度	人数
2016	20
2017	20
2018	27
総計	67

【3】現在の状況について

行ラベル	人数	割合
1. 就業している方	55	82.1%
2. 現在離職している方	8	11.9%
3. 進学している方	4	6.0%
総計	67	100.0%

- 回答者の82.1%が「就業中」であり、「離職中」が11.9%、「進学」が6.0%となっている。

【4】（質問3）で「就職している方」と回答した方（55名）への質問

【4-1】現在就職している企業の業種

就職先企業の業種	人数	割合
1. 農業・林業	0	0.0%
2. 漁業	0	0.0%
3. 鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%
4. 建設業	3	5.5%
5. 製造業	5	9.1%
6. 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%
7. 情報通信業	4	7.3%
8. 運輸業、郵便業	4	7.3%
9. 卸売業、小売業	7	12.7%
10. 金融業、保険業	5	9.1%
11. 不動産業、物品賃貸業	2	3.6%
12. 学術研究、専門・技術サービス業	0	0.0%
13. 宿泊業、飲食サービス業	3	5.5%
14. 生活関連サービス業、娯楽業	0	0.0%
15. 教育、学習支援業	0	0.0%
16. 医療、福祉	1	1.8%
17. 複合サービス事業	0	0.0%
18. サービス業（他に分類されないもの）	12	21.8%
19. 公務	9	16.4%
総計	55	100.0%

【4-2】雇用形態

雇用形態	人数	割合
1. 正社員	46	83.6%
2. 契約社員	4	7.3%
3. 派遣社員	0	0.0%
4. 自営	1	1.8%
5. アルバイト・パート	4	7.3%
総計	55	100.0%

●就業中と回答した卒業生の中では、83.6%が「正社員」で就業中となる。

【5】（質問3）で「離職している方」と回答した方（8名）への質問

【5-1】現在の状況をご入力ください

現在の状況	人数	割合
1. 就職活動中	4	50.0%
2. 既に転職先・仕事が決まっている	1	12.5%
3. 公務員採用試験の準備をしている	1	12.5%
(その他)やりたい事があるため勉強中	1	12.5%
(その他)病気療養中	1	12.5%
総計	8	100.0%

【5-2】離職された企業の在籍期間をご入力ください

離職された企業の在籍期間	人数
1年5ヶ月	1
10ヶ月	1
8ヶ月	1
6か月	1
3ヶ月	2
就業経験なし	2
総計	8

【5-3】前職を離職した理由をご回答ください（複数回答可）

※8名中2名就業経験なしのため、6名が回答

離職理由	人数
1. 仕事内容が合わなかった	4
2. 職場の人間関係に問題があった	2
3. 労働時間が長い	2
4. 将来性がない	3
5. 収入に不満があった	2
6. 体調不良	2
7. 家庭の事情	2
8. 入社前のイメージと大きな違いがあった	2
9. 会社都合（倒産・リストラ）	0

●【I】のアンケート結果について

アンケートに回答した卒業生の中では、55名（82.1%）の卒業生が現在就業中であり、業種としては「サービス業（21.8%）」、「公務（16.4%）」「卸売業、小売業（12.7%）」と続く。また、進学が4名（6%）おり、合計で59名（88.1%）の卒業生が現在何かしらの就職や進路に就いている状況である。

【II】在学中の大阪経済法科大学での教育や学生支援についてお伺いします

【7】大阪経済法科大学の教育内容に、全体として満足でしたか

教育内容について	人数	割合
満足だった	38	56.7%
どちらでもない	25	37.3%
不満足だった	4	6.0%
総計	67	100.0%

【8】大阪経済法科大学の学習や研究に関わる施設、設備、備品は十分でしたか

学習・研究に関わる施設・設備・備品について	人数	割合
十分だった	43	64.2%
どちらでもない	19	28.4%
不十分で学習や研究ができなかった	5	7.5%
総計	67	100.0%

【9】大阪経済法科大学の課外活動に関わる施設、設備、備品は十分でしたか

課外活動に関わる施設・設備・備品	人数	割合
十分だった	27	40.3%
どちらでもない	32	47.8%
不十分であった	8	11.9%
総計	67	100.0%

●【II】のアンケート結果について

教育内容に関する満足度では38名（56.7%）、学修や研究に関わる施設、設備、備品に関する質問については43名（64.2%）の卒業生が「満足だった」「十分だった」と評価をしている。課外活動に関わる施設、設備、備品については27名（40.3%）が十分と答えている。

【Ⅲ】大阪経済法科大学で受けた教育により、能力・資質がどの程度身についたかについてお伺いします。

【10】学問の幅広い専門知識

学問の幅広い専門知識	人数	割合
身についた	40	59.7%
どちらとも言えない	21	31.3%
身につかなかった	6	9.0%
総計	67	100.0%

【11】社会での実践応用能力

社会での実践応用力	人数	割合
身についた	31	46.3%
どちらとも言えない	27	40.3%
身につかなかった	9	13.4%
総計	67	100.0%

【12】豊かな人間性

豊かな人間性	人数	割合
身についた	33	49.3%
どちらとも言えない	27	40.3%
身につかなかった	7	10.4%
総計	67	100.0%

【13】国際感覚（異文化理解）

国際感覚（異文化理解）	人数	割合
身についた	24	35.8%
どちらとも言えない	26	38.8%
身につかなかった	17	25.4%
総計	67	100.0%

【14】実社会での経験を踏まえて、有意義だったと思う授業。（29名回答）

有意義だったと思う授業（系統別）	人数
演習・特別演習	12
BLPの活動	4
国際系科目	4
経済・経営科目	4
資格に関する講義	2
法学部科目	1
キャリア科目	1
語学の授業	1
大学院受験対策	1
歴史学	1

●【Ⅲ】のアンケート結果について

「学問の幅広い専門知識」の質問では40名（59.7%）が「身についた」と回答している。

「実社会での経験を踏まえて、有意義だったと思う授業」については、演習やBLPといった少人数の授業への評価が高いことがわかる。次いで、国際系の科目や経済・経営科目など、学部の講義に関しても有意義と感じている卒業生がいる。

【Ⅳ】豊かな人間性の形成、国際感覚ある独創的で実践力に富む人材を育成するために、今後の大阪経済法科大学の教育学生支援について、要望することについてお伺いします。

【15】今後どの分野の教育を充実するのが望ましいと思われるか（複数回答可）

今後どの分野の教育を充実するのが望ましいか	人数
1. 深い専門的学力	21
2. 幅広い基礎的学力	24
3. 文科系学力(哲学・文学など)	9
4. 社会系学力(会計学・経営学など)	11
5. 自然系学力(数学・物理学など)	5
6. 情報処理能力	19
7. 外国語能力	20
8. テーマ別学力(国際・情報・環境・人間など)	11
9. 教職系学力	2
10. 健康・スポーツ	7
(その他)コミュニケーション能力	1
(その他)個人の目指す就職先への準備	1
(その他)歴史的学力	1
(その他)道徳	1

【16】学生生活を通じての人間形成のために、どの分野の支援を充実させることが望ましいと思われるか（複数回答可）

人間形成のために、どの分野の支援充実が必要か	人数
1. 部活・サークル活動(スポーツ中心)	16
2. 部活・サークル活動(文化・研究中心)	13
3. クラス担任制度	11
4. 研究室・ゼミナール活動	24
5. キャリア教育	20
6. インターンシップ	18
7. ボランティア活動	15
8. 地域貢献活動	12
9. 海外留学	10
10. アルバイト	10
(その他)自ら主体的に取り組めるような支援	1
(その他)実際の卒業生に話を聞ける機会を増やす	1

【17】今後何らかの形式で再び学ぶとしたら、どのような機会にしたいと思いますか。1つだけ選んでください

今後何らかの形式で学ぶとしたら、どのような機会にしたいか	人数
資格など修得のための特定の技術的・専門的知識を学ぶ機会	35
技術的知識ではない広い知識を、職業人としての実力を磨くために学ぶ機会	12
必ずしも仕事・職業とは関係のないことを広く教養として学ぶ機会	18
学ぶ機会ということでは特に希望することはない	1
考え方哲学についてもう少し理解を深めたかった	1
総計	67

●【IV】のアンケート結果について

「今後どの分野の教育を充実するのが望ましいか」という質問では、「幅広い基礎学力」「深い専門学力」「外国語能力」と続いている。学部科目に沿った授業の充実を望む声が多いが、外国語能力の必要性を感じる卒業生も多い。

「人間形成のためにどの分野の支援を充実されることが望ましいか」という質問では、「研究室・ゼミナール活動」「キャリア教育」「インターンシップ」と続いており、少人数授業充実と、卒業後の進路に向けた取り組みの充実を望む声が多い。

「今後再び大学で学ぶとしたら、どのような機会にしたいと思うか」という質問では、「資格など習得のための特定の技術的・専門的知識を学ぶ機会」がもっとも回答として多く、卒業後に資格や専門知識の重要性を感じる卒業生が多いと見られる。

【V】今後、大阪経済法科大学における教育や学生支援サービスをより良いものにしていくために、ご意見がありましたらお聞かせください

- ・1年生の時から、グループ討論など全体の場で、自分の思いを話せる機会を多く作るべきだと思います。
- ・グループワークなどの意見交流の機会が積極的に設けられている分、社会に出て必須となるコミュニケーション能力を磨く場、その質は気になりました。
- ・積極的な生徒も消極的な生徒に流されてしまう傾向があったため、グループで話しやすい空気感・環境を作って、積極性を伸ばす場を整える必要はあると思います。
- ・卒業生による講話などを開くべきだと思います。
- ・本校は資格取得に力を入れているが、もっと学生に興味と意欲を駆り立てる宣伝や告知が要と思う。そもそも資格を知らない者も結構居ると思う
- ・担任による個別面談などを実施して、学生それぞれの卒業後の就業や進路に合った資格取得に向けたプランを早くからたててもらえたらありがたい。
- ・教育や施設に不満はありませんが、不十分であるとは在学中から考えていました。学生同士の憩いの場や交流の場、自主学習の場、留学生との交流の場など何かしらの工夫で居心地よい場を増やしてほしいと思います。
- ・専門的な知識を深めるのはもちろん、文化系の学習にも力を入れるべきではないかと思う。国際関係系の科目や、歴史的科目を増やしてほしい。経済についても法についても国際についても必ず歴史は存在します。
- ・ゼミ活動ですが、経法は教職員の方々と学生の人の距離の近さが魅力の一つです。ゼミ活動ももっと各々のゼミで特色を出すべきだと思います。私が入学した頃は新入生合宿がありゼミ仲間との交流も深まりました。そういった活動にも力を入れるべきだと思います。

以上